床遮音材　わんぱく応援マット　施工要領書

(マンションでも、フローリング)

木下地に張る場合

はじめに

マンションなど、床の遮音性能を要求される場合に効果を発揮するのが、床遮音材(わんぱく応援マット)です。わんぱく応援マットの施工は至って簡単、フローリグと床下地の間に挟むだけです。それで、最大 LL40 までの遮音性能を発揮します。また、木下地への施工の場合は、接着の必要がありません。
※試験結果は、(財)日本建築総合試験所に於ける簡易試験の結果です。試験は 1 種類しかしておりません。実測値であり、現場での性能を保証するものではありません。

施工前のご注意ほか

1．床の遮音制限があるマンションでは、通常、管理組合の許可なくして、フローリングへの張替えはできません。その場合、管理組合に提出する書類のご用意がありますので、ご相談ください。
2．リフォームで使用する場合、わんぱく応援マットを挟んだ分だけ、床の高さが既存より高くなる場合があります。そうした場合でも、通常は建具(ドア)の下を切って調整できます。
3．わんぱく応援マットは床暖房対応品です。
4．わんぱく応援マットは、水洗い厳禁です。フェルト部分が水を吸ってしまいます。

床遮音材(わんぱく応援マット)の敷き込み

1．床下地が完成したら床遮音材(わんぱく応援マット)を敷いてください。必ず、フェルト面を下にして施工してください。
2．わんぱく応援マットを床全体に敷き並べてください。
3．壁の周囲、敷居際等は、荷重による沈み込みを防止するため、際根太を設置します。
フェルトの部分をカッターなどで取り除き、その部分に同じ厚みの際根太を入れてください。

自然素材の内装材専門メーカー
アトピッコハウス株式会社
〒248-0017 神奈川県鎌倉市佐助 1-2-4
TEL：0467-33-4210 FAX：0467-33-4212
http://www.atopico.com/　info@atopico.com

合板捨貼りをする際のご注意

1．床鳴りの恐れがある場合は、厚さ９ｍｍ以上の不陸のない品質のいい合板を捨張りすることを推奨します。但し、試験データは１種類しかありません。採用に当たっては、現場でご判断ください。
2．合板を捨て貼りする場合は、継ぎ目が同じ位置にならないよう千鳥（交互）に張ってください。また合板の伸縮を考え、適度なエキスパンションを取ってください。
※改正建築基準法に適合した合板（その他の下地材）を使用してください。
3．合板の継ぎ目などの段差は、0.5ｍｍ以下になるように施工してください。
4．下地表面は、不陸の原因となる異物を綺麗に取り除いてください。

接着剤の塗布

1．ごろ寝フローリングを施工する際には、接着剤と釘を併用してください。
2．接着剤を使用しない場合、床鳴りの原因となります。
3．接着剤が実(さね)の中に入らないように注意してください。
4．改正建築基準法に適合した接着剤（ゼロホルム合接着剤を推奨）を使用してください。
5．接着剤が床表面についた場合は、速やかに灯油等を含ませた布で拭き取ってください。
6．接着剤の使用方法は、メーカーの取扱説明書にしたがってください。
（中央部に一列で塗布する場合と、ビート状に塗布する場合があります）

フローリング張り

1．釘止めは約 300ｍｍピッチとしてください。
2．釘は保持力のある接着剤付きステープルまたは、スクリュー釘等で施工してください。
（フィニッシュネイル、ブラッドネイルの使用はおやめください）
3．冬場は夏場のフローリングの膨張を、夏場は冬場のフローリングの収縮を考慮し、スペーサーなどを利用して、隙間を空けて張るようにしてください。
4．フローリングを実(さね)に入れる際、雄実(おざね)に「当て木」を当てて、それを叩いて入れてください。直接叩くと割れの原因となります。
5．張り始め、張り仕舞(部屋の周辺部等)は、突きつけではなく、差込(巾木下に入れる)施工とし、最低５ｍｍ程度隙間を空けてください。
6．張り込み後は表面保護のため、直ちに防湿養生シートを全面に敷いて養生テープで止めてください。養生テープは粘着力の弱い床専用のものをお使いください。

床暖房の工事と併用する場合

わんぱく応援マットは床暖房対応品です。特別な施工方法は必要ありません。

自然素材の内装材専門メーカー
アトピッコハウス株式会社
〒248-0017 神奈川県鎌倉市佐助 1-2-4
TEL：0467-33-4210 FAX：0467-33-4212
http://www.atopico.com/　info@atopico.com

床遮音材　わんぱく応援マット　施工要領書

(マンションでも、フローリング)

コンクリート床下地に直接張る場合

はじめに

下地の床がコンクリート直接の場合でも、床遮音材(わんぱく応援マット)を施工することで、フローリングを施工することが出来ます。わんぱく応援マットをコンクリート床面に直接接着することで、最大LL40までの遮音性能を発揮します。※試験結果は、(財)日本建築総合試験所に於ける簡易試験の結果です。試験は1種類しかしておりません。実測値であり、現場での性能を保証するものではありません。

施工前のご注意ほか

1．コンリクート床直接の施工の場合、平滑なモルタル下地を作っていただく必要があります。
2．部分的な凹凸は必ず補修してください。また、下地の不陸は１ｍで３ｍｍ以内としてください。
　大きな不陸があると、「浮き」「床鳴り」の原因になります。
3．モルタル等で補修した場合、下地を十分に乾燥させてください。
4．下地表面は、不陸の原因となる異物を綺麗に取り除いてください。
5．わんぱく応援マットは、水洗い厳禁です。フェルト部分が水を吸ってしまいます。
6．その他の注意は、木下地の施工要領書に準じてください。

床遮音材(わんぱく応援マット)の敷き込み

1．下地の準備が出来たら、下地面に接着剤（セレクティＵＲ－１４５を推奨）をクシゴテで均一に塗布してください。際根太を設置する場所は、あらかじめフェルト部分を除去しておく。
2．わんぱく応援マットを敷き込んでください。必ず、フェルト面を下にして施工してください。
3．壁の周囲、敷居際等は、荷重による沈み込みを防止するため、際根太を設置します。
　フェルトの部分をカッターなどで取り除き、その部分に同じ厚みの際根太を入れてください。

自然素材の内装材専門メーカー
アトピッコハウス株式会社
〒248-0017 神奈川県鎌倉市佐助 1-2-4
TEL：0467-33-4210 FAX：0467-33-4212
http://www.atopico.com/　info@atopico.com

合板を捨貼りする際のご注意

1．床鳴りの恐れがある場合は、厚さ９ｍｍ以上の不陸のない品質のいい合板を捨張りすることを推奨します。但し、試験データは１種類しかありません。採用に当たっては、現場でご判断ください。
2．合板を捨て貼りする場合は、継ぎ目が同じ位置にならないよう千鳥（交互）に張ってください。また合板の伸縮を考え、適度なエキスパンションを取ってください。
※改正建築基準法に適合した合板（その他の下地材）を使用してください。
3．合板の継ぎ目などの段差は、0.5ｍｍ以下になるように施工してください。
4．捨貼合板はしっかりと、わんぱく応援マットに固定させてください。
5．下地表面は、不陸の原因となる異物を綺麗に取り除いてください。

接着剤の塗布

1．ごろ寝フローリングを施工する際には、接着剤と釘を併用してください。
2．接着剤を使用しない場合、床鳴りの原因となります。
3．接着剤が実(さね)の中に入らないように注意してください。
4．改正建築基準法に適合した接着剤（ゼロホルム接着剤ＡＵ－０１アトピッコハウス社製を推奨）を使用してください。
5．接着剤が床表面についた場合は、速やかに灯油等を含ませた布で拭き取ってください。
6．接着剤の使用方法は、メーカーの取扱説明書にしたがってください。
（中央部に一列で塗布する場合と、ビート状に塗布する場合があります）

フローリング張り

1．接着剤と、釘打ちを併用してフローリングを施工してください。
釘を効かせることが出来ない場合は、接着剤の塗布量、塗布は満遍なく丁寧に行ってください。
2．釘止めは約 300ｍｍピッチとしてください。
3．可能な場合は、コンクリート面に届く長さの釘打ちが理想です。
4．冬場は夏場のフローリングの膨張を、夏場は冬場のフローリングの収縮を考慮し、スペーサーなどを利用して、隙間を空けて張るようにしてください。
5．フローリングを実(さね)に入れる際、雄実(おざね)に「当て木」を当てて、それを叩いて入れてください。直接叩くと割れの原因となります。
6．張り始め、張り仕舞(部屋の周辺部等)は、突きつけではなく、差込(巾木下に入れる)施工とし、最低５ｍｍ程度隙間を空けてください。
7．張り込み後は表面保護のため、直ちに防湿養生シートを全面に敷いて養生テープで止めてください。
養生テープは粘着力の弱い床専用のものをお使いください。

床暖房の工事と併用する場合

わんぱく応援マットは床暖房対応品です。特別な施工方法は必要ありません。